

小見川地区 グループ A の意見概要

自然環境について

- 城山公園の清掃を行っている。
- 花とみどりの会等の活動は、高齢者が中心で若い人の加入者が少ないことが課題である。
- 手入れがされていない休耕田があり、草刈りなどの手入れを行わないともっとひどくなることが予想される。
- 空き家・廃墟、雑林がサルやイノシシのすみかになっている。
- ペットのフンの放置、ポイ捨て等は、人々のモラルが低下しているためだと考えられる。
- 東地域まちづくり協議会では道路愛護等を実施している。
- ポイ捨て防止のためには、不法投棄に対する罰則の事例等について周知を行うことが効果的なのではないか。
- 空き家や空き地が増えたことがポイ捨ての増加の一因となっていると考えられる。
- 不法投棄されるものの大きさの変化を感じている。（大→小へ変化している。）

黒部川の浄化、水循環について

- 黒部川に遊水地が必要である。
- 黒部川の自然を維持するために管理が必要である。
- 利根川と黒部川のクリーン作戦等、清掃活動を実施している。
- 黒部川沿いの花壇・プランターに植えた花が塩害の被害を受けている。
- 市民に対し、河川の水質について情報提供することが重要である。

ごみ減量について

- 雇用者から従業員に対し、ごみの出し方、分別方法の徹底を周知できるとよい。
- 全ての方がごみ出しをしやすい仕組みづくり、ごみ出し困難者に対する支援が必要である。
- 伊地山クリーンセンターのごみの受け入れ体制の周知が必要である。
- 資源ごみの回収の仕組みづくり（ポイント付与等）を行ってはどうか。

その他

- 一次計画ではPDCA体制が不十分なので、エコアクション21を導入するなど検討が必要。
- 計画の目標達成の理由を探り、計画書に地域ごとの課題を記載してはどうか。
- 香取市民環境ネットワークのマネジメントシステム研究会ではISO14001を導入している。
- 情報提供のあり方について、市民目線でメリット・デメリット、市民として守るべきことを周知するのがよいのではないか。
- 市の環境イベントの拡張、参加しやすいイベントづくりが必要である。
- 市内の中小企業の活動が環境に与える影響がどうなっているのか気になる。
- 太陽光パネルが破損することによる環境への悪影響が気になる。
- 少子高齢化は温暖化を加速する側面もあるのではないか。